

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年7月11日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙 國本未華（気象予報士）		
検証テーマ： オープニング、森友学園問題、アイヌ文化「ウポポイ」が北海道で明日オープン 香港民主派の予備選挙、地村保さん死去 【特集】 森友問題“黒塗り”に隠された事実は		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県内で大雨のため一時帰宅も中止に ・ 尾畠さん「ボランティアも命がけ」 ・ オープニング ・ 【中継】 豪雨発生から一週間後の被災地の様子 ・ 気象情報 ・ 森友学園問題 ・ 東京で今日新たに 206 人の感染者 ・ アイヌ文化施設「ウポポイ」が北海道で明日オープン ・ 香港民主派の予備選挙 ・ 地村保さん死去 ・ 前橋市で酒気帯びの車に衝突され男性死亡 ・ 逃走中の特殊詐欺グループの男を名古屋で逮捕 ・ 【特集】 記録的豪雨とコロナ禍の避難 ・ 【特集】 森友問題“黒塗り”に隠された事実は 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ オープニング：結論→特に問題なし 番組冒頭で金平キャスターの「森友問題で財務省の公文書改ざん作業をさせられて自殺した近畿財務局職員の残された奥様からつい先程お話を伺ってきました。その肉声からはこの問題がどれほど人間の良心を踏みにじるものだったのかを改めて確認しました。特集とニュースでお伝えします。」とのコメントがされていた。このシーンに当てられた時間は 21 秒で放送法上は特に問題はなかった。 ・ 森友学園問題：結論→特に問題なし 日下部キャスターの「次です。森友学園をめぐる公文書の改ざん問題で自殺した近畿財務局の元職員の妻が来週から始まる裁判を前に初めてカメラの前で心境を語りました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。 "赤木雅子「夫のために、もう何一つ後悔したくないので、夫助けてあげられなかったから、もう今からは夫のためにできることは自分のできる限りのことはやりたいので。」 ナレ「森友学園の公文書改ざん問題をめぐり自殺した近畿財務局の元職員、赤木俊夫さんの妻、雅子さん、国と当時の理財局長だった佐川宣寿氏に損害賠償を求めて起こした裁判が来週 15 日から大阪地裁で行われます。雅子さんは第三者委員会による再調査を求めて 35 万人をこえる署名を提出していますが、国は再調査を行わない 		

考えを示しています。」 "

赤木雅子「いま、安倍首相や麻生大臣が言っておられるのは自分たちを守ろうとしていると思うので、ちゃんと調査を進めていただきたいと思います。」

このトピックに当てられたのは 80 秒で放送法上は特に問題はなかった。

・アイヌ文化「ウポポイ」が北海道で明日オープン：

日下部キャスターの「アイヌ文化の復興拠点、ウポポイの開業記念式典が行われました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"ナレ「民族共生象徴空間ウポポイは 4 月にオープンする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で延期となっていました。明日のオープンを前に菅官房長官らがウポポイを訪れ博物館や慰霊施設などを視察したあと、記念式典に出席しました。」

菅官房長官「民族共生の理念に共感していただけるよう、政府としても地元の皆さんと十分に連携をしながら、ウポポイの PR や魅力向上に引き続き全力で取り組んでまいります。」

ナレ「ウポポイへの入場は事前予約が必要です。」 "

このトピックに当てられたのは秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港民主派の予備選挙：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「香港で 9 月に行われる立法会の議員選挙の前に民主派の候補を決める、候補者を決める予備選挙が始まりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

ナレ「香港の民主派には多くの団体があるため、今回、共倒れを防ごうと予備選挙を行って、候補者をおよそ 30 人に絞り込みます。民主派は市民に投票を呼びかけていますが、昨日夜、電子投票に使うシステムの準備を進めていた事務所が警察の捜索を受け、投票は 3 時間遅れで始まりました。香港政府交換は予備選が国家安全維持法に違反する可能性があると言っていて、政府に批判的な民主派候補の立法会選挙への立候補が取り消される懸念も広がっています。」

黄之鋒（予備選挙に立候補した）「国際社会が香港の選挙に注目するときだ、中国政府は中止するなら代償を支払うべきだ。」

このトピックに当てられたのは秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・地村保さん死去：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「2002 年に北朝鮮から帰国した拉致被害者地村保志さんの父、保さんが昨日、なくなりました。93 歳でした。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"地村保さん「署名ご協力お願いします。」

ナレ「地村保さんは北朝鮮に拉致された息子の保志さんとその妻の富貴恵さんが 2002 年に帰国を果たしたあとも、他の拉致被害者や特定失踪者の救出を求め、積極的に活動していました。しかし、今年に入って体調を崩し、入院していたということで、昨日の未明になくなりました。保志さん夫妻は文書で『めぐみさんの父、横田滋さんに続き、父も亡くなりました。拉致被害者家族は高齢化し、解決には一刻の猶予もありません。父の遺志を引き継ぎ我々の世代で拉致問題が解決されるよう、今後も取り組んでいきたいと思っています。』とコメントしています。」 "

このトピックに当てられたのは 58 秒で放送法上は特に問題はなかった。

・【特集】森友問題“黒塗り”に隠された事実は：

膳場キャスターの「では次の特集です。森友問題の公文書改ざんをめぐる自殺した近畿財務局の元職員。その妻の起こした裁判が来週水曜日に始まります。」とのコメント、金平キャスターの「つい先ほど職員の妻が、報道特集の取材に応じました。亡き夫として裁判にかかる思いはどのようなものなのでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

ナレ「今日午後、近畿財務局の元職員赤木俊夫さんの妻、雅子さんが報道特集の取材に応じた。」

金平「一番辛かったことって何ですか？」

赤木俊夫さんの妻 雅子さん「やっぱりあの、主人が改ざんした後から暗い表情になって、話もなかなか、楽しい元気な人間だったのに、話ししなくなってもう人間が壊れていくのを目の前で見たんですね。最後はもう普通の会話もままならないっていうか、会話もできないような、自分のことを叩いたりとか、叩いて叫んだりとか、人間が壊れていく姿をずっと見てたのが一番辛くて、それを助けられなかったのもつらかったです。」

ナレ「森友学園に対し、国有地が 8 億円以上の値引きされ、売却されていた問題。学園が新設する小学校の、名誉校長に、安倍総理の妻昭恵氏が就任していたことから、2017 年 2 月、国会で野党の追及が強まった。」

"国会の人「籠池証人」

森友学園籠池泰典氏「その時、場所、タイミングというものが、天からの配剤して落ちてきたんですね。」

ナレ「当時、近畿財務局にいた赤木俊夫さんは、土地取引をめぐる公文書から、昭恵氏は国会議員の名前を消すなどの、改ざんを強要され、うつ病を発症し、2 年前に自殺した。遺された妻雅子さんは、今年 3 月、財務局の理財局長だった佐川のぶひさ氏に対し、およそ 1 億 1000 万円の損害賠償を求め、大阪地裁に提訴した。」

雅子氏「夫のためにもう何一つ後悔したくないので、夫を助けてあげられなかったから、もう今からは夫のためにできることは、あの自分の出来る限りのことはやりたいので、夫の為になるんだったら、意見陳述も頑張ろうと思って、することに決めました。」

ナレ「望んでいなかった裁判に踏み切るきっかけとなったのは、公務災害補償が、提訴の 4 ヶ月前に認定されたことだ。」

ナレ「公務災害補償とは、公務員が公務において病気をしたり、死亡した場合に本人もしくは遺族に保証などが行われる制度。公務災害と認定されたのか人事院に個人情報を開示請求をしたのだが・・・」

書類「傷病名等・・・うつ病。直接死因・・・窒息。」

ナレ「人事院が開示した 72 ページの文書はそのほとんどは黒塗りだった。」

文書「こうした状況のもと平成 30 年 3 月 7 日、自宅にて自殺をするに至ったものである。」

ナレ「としおさんがどんな状況のもと、うつ病を発症し自殺に至ったのか、知りたいと願っていた内容は一切明らかにされなかった。」

生越照幸弁護士「おそらくこれで、ショックを受けられたんだと思うんですね。全然わかんないやってやつですよ。」

ナレ「雅子さんの代理人を務める生越輝幸弁護士。担当した別の公務災害補償の文書を依頼者の許可を得て見せてもらった。隠されている箇所はほとんどない。」

生越弁護士「固有名詞であるとか、その第三者の発言部分であるとか、一部はマスキングされていますけど何があったかこの記録でわかる。ご遺族から見て、不十分だけれども、何で亡くなったんだと言う経緯くらいはわかる。」

生越弁護士「全く違うというか赤木さんの事件の方が、非常に異常なマスキングがかけられているので、」

ナレ「雅子さんは真実を知りたいと、財務省などに対し、裁判を起こすことを決意する。同時に今度は人事院で

はなく、近畿財務局に対し、個人情報開示請求をした。夫の勤務状況などの資料を作成した部署が、あるからだ。その回答が5月に帰ってきた。」

生越弁護士「来年の5月まで時間がかかると、出すまで」

ナレ「ともに雅子さんの裁判を担当するまつまるただし弁護士は、」

まつまる弁護士「普通情報公開で、普通は30日、延期されたとしてもさらに30日、60日以内で提出されるんですけど、通常なんですけれども、それが来年にならないと公開ができない。という非常に綺麗な情報公開に対する対応になっている。ということです。」 0

ナレ「これが近畿財務局から雅子さんに届いた通知だ。時間が1年近くかかる理由がこう記されている。」

通知「新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴う、処理可能作業量の減少、業務の多忙、および、対象文章が著しく大量で、審査等に時間を要するため。」

金平「コロナが理由だっていう風に言ってますけど、どうですか？」

生越弁護士「まあそうですね。コロナが理由という風に一番、コロナによってその処理のスピードが遅くなっているという趣旨じゃないですかね。請求から1年以上かかるって言うのは、普通はないと思いますけれどもね。」

ナレ「雅子さんは今週月曜日、公務災害認定に関する文書の速やかな開示決定を求める新たな訴訟を大阪地裁に起こした。」

ナレ「情報開示に立ち足るいくつかの壁。一方で、森友問題については、情報開示で新たに明らかになったこともある。」

男性「これですね」金平「これ」立憲民主党川内博史議員「これが三箱ぶんです。でもまだまだ明らかにされていない資料がたくさんあると思いますね。」金平「もちろんですね。」川内氏「もちろん山ほどあると思います。」金平「もちろん山ほどありますよ。うん」

ナレ「立憲民主党の川内博史議員が入手したのは、森友問題についての想定問答だ。5600ページに及ぶ。議員から事前に質問された質問に、担当部署の官僚が透明になる人の参考になる答えを準備したものだ。」

ナレ「川内議員が注目するのは、2017年2月24日、財務省の理財局長だった佐川のぶひさ氏の国会答弁。その元となった想定問答だ。」

想定問答文書「売買契約締結に至るまでの近畿財務局と森友学園とのすべての交渉記録を提出して欲しい。」

ナレ「共産党議員の質問に対し、想定した回答は、」

想定回答「近畿財務局と森友学園関係者との交渉記録はなかった。」

佐川理財局長（当時）「近畿財務局と森友学園の、交渉記録ってのはございませんでした。」

ナレ「売買契約締結をもって、既に事案が終了しているため、記録は残っていない」

佐川理財局長（当時）「売買契約締結をもちまして、すでに事案は終了してございますので、記録は残っていないということでございます。」

国会議長「宮本君」議員「驚くべき答弁ですね。」

金平「この通り答えていたわけですね。」

川内議員「この通りに、佐川さんも答えているし、財務大臣も答えているんですね。この答弁が、文章改ざんに繋がるわけです。「応接録はない」とないから書き換えると」

ナレ「近畿財務局と、森友学園との交渉記録は存在しない。という趣旨の答弁は、こうした想定問答に基づき、63回繰り返された。」

ナレ「これらの答弁を作成した責任者として、名前が記されているのが、当時の財務省理財局総務課長だった中村稔氏や、国有財産審査室長の田村嘉啓氏らだ。ところが、答弁の1年後、財務省自ら行った調査結果には、

二人が交渉記録の存在を認識していたことが明かされている。」

調査結果文書「平成 29 年 2 月 24 日の衆議院予算委員会において、理財局長の答弁があるまでに、本生理財局の総務課長及び国有財産審理室長は森友学園案件関係の各種応接録が、実際には残っていることを認識していたものと認められる。」

金平「残っていたことを知っていたということ。知っていたと。彼らは認識していたと。他方で、この 2 月 24 日と言うですね、この日付ですね。に残って以内という答弁を作っていたわけです。交渉を記録が残っていることを知りながら、廃棄したという答弁書を作成するのはですね、わたくしは、これは、公文書を虚偽の公文書作成ということになるのではないかという問題意識を持っていたわけですね。持ってるわけですね。」

ナレ「この春公表された、赤木俊夫さんの手記にも、新たな事実が記されていた。報道特集のカメラが撮影したとしおさんのパソコン」

金平「パソコンってなんか自分の分身みたいに、なるでしょうね。」

生越弁護士「まあそうですね。うーん」

ナレ「『手記』と題された文章の 1 ページ目には、」

手記「この手記は、本件事案に関する真実を、書き記しておく必要があると考え、作成したものです。」

ナレ「2017 年の 2 月 24 日の交渉記録はないと言う佐川氏の答弁の 2 日後、赤木さんは改ざんに初めて手を染めたと言う。そしてそこにも、中村田村、両氏の名前が登場する。」

手記「第 1 回目は昨年 2 月 26 日のことです。その後の 3 月 7 日頃にも、修正作業の指示が複数回有り、現場として私はこれに、相当抵抗しました。部長に報告し、当初は応じるな、との指示でしたが、本省理財局中村総務課長をはじめ、田村国有財産審理室長などから、部長に直接電話があり、応じることやむを得ないとし、局長報告したと、承知しています。」

ナレ「そして、手記の最後に」

手記「この事実を知り、抵抗したとはいえ、関わった者としての、責任をどうとるか、ずっと考えてきました。事実を公的な場所で、しっかりと説明することができません。今の健康状態と体力では、この方法をとるしか、ありませんでした。」

ナレ「自宅の居間で、首を吊って亡くなった俊夫さんを発見したのは、妻雅子さんだった。」

雅子さん「夫が命がけで残したものですから夫は自分に嘘つかずに帰ってると思うんですけど、それが正しいのか、正しくないのか。これが本当にあったことなのかを知りたいと思いました。常に横にいてくれると思うので、一緒に喜んでると思うし、多分褒めてくれると思うので、こんな事を本当はしたくないけど、夫の為に頑張ろうと、勇気を振り絞ってます。」

ナレ「今年 3 月手記の公表と共に、雅子さんは、第三者委員会による、この問題の再調査を、国に求めたが、麻生財務大臣「実質的な違いがあると思っておりませんので、再調査ということに関しては、今行うことは考えておりません。」

安倍首相「財務大臣の対応させて頂いたことがですね、政府としての考え方でございます。」

ナレ「麻生財務大臣も、安倍総理も再調査を行わない考えを示した。」

雅子さん「今安倍首相や麻生大臣が言うておられるのは、守ろうとしてると自分たちを守ろうとしていると思うので、何のためにいらっしゃるのか、意味がないと思います。ちゃんと調査を進めていただきたいと思います。」

ナレ「報道特集は、2017 年 2 月当時財務省の理財局総務課長で、現在イギリス大使館で公使を務める中村稔氏。国有財産審理室長で、現在福岡財務支局理財室長で田村嘉啓氏に取材した。森友学園と、近畿財務局との交渉記録が存在すると知りながら、記録は存在しない。廃棄したという想定問答を策定したのは、虚偽の公文書作成に

当たるのではと、聞いたところ、双方とも、取材は財務省に一元化していますとし、財務省が変わって回答した。」
財務省「財務省としては、調査報告書で、国会審議等において、各種応接録の存否が問題になった後に、廃棄を進め、存在しない旨を回答したことは、不適切であると認定しており、これについては、誤った対応だったと考えている。」

ナレ「大阪地検特捜部は、財務省の官僚らを不起訴処分にし、彼らはその後出世した。」

雅子さん「きっと出世されても、本当喋らないといけないのに、出世したことで喋れない状況におられるんじゃないかと思います。喋らせないために、出世させられたんじゃないかと思って、本当は喋りたいのに、本当のこと言いたいのと言えないような方もいると思うので、そういう方達が気の毒やなと思うし、出世して本当に嬉しいのかなーって、疑問は感じます。」

ナレ「先月、25日、近畿財務局の前では、OBや職員らが支援者に対し、森友問題の真相解明への協力を呼びかけていた。国有地の価格を決める鑑定官をしていた北てつのおぶさん。自殺した近畿財務局の元職員、赤木俊夫さんと顔見知りだったと言う。」

近畿財務局のOB 喜多徹信さん「赤木君がそういうことをやらされて、あの手記を公表されたのを読んで、ほんと泣きましたね。本性からの圧力っちゃうのは、すごいですわ。断るといのは本当に勇気がいる。人生かけんとあかんと思うよ。公務員としてのね。」

ナレ「裁判は、来週水曜日大阪地裁で始まる。雅子さんは」

金平「裁判官は信じたい？裁判所信じたい？」雅子さん「はい、信じたいです。」

(c m)

ナレ「森友問題で、近畿財務局に勤めていた夫を亡くした赤木雅子さんは来週始まる裁判について、こう語った」
雅子さん「裁判所とか裁判官の人って、正しいことを見極めて、判断する人だと信じているので、正しいことをちゃんと検証して、何がどうだったのかを、明るみにして、そこがもし壊れていたら、何を信用していいのかわからないと思うのですよね。」

ナレ「最後に情報交換について」

雅子さん「その黒塗りがおかしいということで、今回また裁判を先生にお願いして、していただいているので、だからその裁判でそれが正しいのか正しくないのかが、出るのかなー、でも遺族が知りたいって思っていることを、全部隠されて黒塗りで出されるっていうのは、一度死夫が死んだ上に、もう一度殺されたような、南海見殺しにするんやろうって、思う。私もなんか見殺しにされているような、夫は正しいことは正しいって、いう人間だったので、私がやっていることは、夫はすごく喜んでいて、褒めてくれてると思います。」

特集のVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

膳場「赤木雅子さんは、テレビカメラの前で初めて思いを語ってくださったということで、本当に一言一言グッとくるんですけども、金平さんどんなことを感じましたか？」

金平「えーやっぱり、時間があんま経ってないんでね、もう1回見てちょっと同様しちゃったんですけども、まああの話してたように、夫が目の前で壊れていくのずっと見て自分が、それを助けられなかったって何度も自分を生きていてもしょうがないなど、思ったこともあったけれども、最後涙ぐんでおられましたですね。あの視聴者の皆さんも赤木さんの肉声を聞くの初めてだと思うんですけども、非常に強い確信をもってですね、真実を知りたいという思いを、語ってこられたのが印象的だったですね。森友事件でこう明々白々な公文書改ざん事件を、検察当局が不起訴にした歴史上の一大汚点として私は残ると思いますね。」

日下部「あの一それと裁判に対するですね、赤木雅子さんの期待と覚悟みたいなものを感じましたね。」

金平「そうですね裁判所を信じたいって言うておられましたですからね。これはやっぱりすごいことだって思いま

すね。や自分の思いを直接伝えたいので、意見陳述をまあ、勇気を出してするんだっていうふうにおっしゃって
ましたですけど、あのこれ赤城さんが自分の手記を近々出版するということになってるとかでまだこれ出てない
んですけども、お借りしてきて 15 日の、第 1 回の口頭弁論の時にこれだってそうなんですけども、我々の仲間
の NEWS23 もですすね同じ部屋で取材をしていたんで、そのインタビューの方もご覧いただきたいと思うんです
けども、非常に決意を込めたインタビューだったっていう風に僕は思いますね。」

この特集に当てられた時間は 1459 秒で放送法上は特に問題は見られなかったが、この問題について幾度となく
取り上げている報道特集であるから、他の特集と比較して、取り上げられてきた見解、取り上げられてこなか
った見解など一度整理し評価しても良いかもしれない。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・香港民主派の予備選挙

共倒れを避けるために共通の目的を持つ政治勢力の中で統一候補を決めるにあたり予備選挙を行うというの
は非常に興味深いものである。日本の政治でも予備選挙という試みができたらもっと面白くなるのではないだろ
うか。

・【特集】森友問題“黒塗り”に隠された事実は

金平キャスター「我々の仲間の NEWS23 もですすね同じ部屋で取材」というコメントが非常に印象的だった。
NEWS23 の森友問題への報道姿勢は「財務省からの総理への忖度」というストーリーありきで報道を組み立て
ているかのような報じ方をする番組である。そうした番組を「我々の仲間」と言っているのだから、これは単に
同じ局の番組という意味を超えたなんらかの政治的含意があるような響きを帯びて感じられた。

ところで、森友問題と言えば、文芸評論家の小川榮太郎氏は『徹底検証「森友・加計事件」』を出版し朝日新
聞から訴えられ、現在も係争中であるが、メディアはこうした見解なども並べた上で報道をしているのだろうか。
番組の制作サイドのストーリーに合致しない見解は取り上げないのか、それともマスコミ業界で TBS 系列より
序列が高そうな朝日新聞社に対する忖度で取り上げていないのだろうか。

いずれにせよ、特定の人物なり組織の見解を手放し無批判で取り上げたり、特定の人物なり組織の見解を無視
黙殺するという姿勢はよろしくないだろう。